

(平成28年度) 自己評価表

愛媛県立宇和島東高等学校(定時制)

学校番号

43

教育方針	創立120周年を迎え、これまで本校が築いてきた伝統を見つめ、宇和島東高校の新たな可能性を見出してゆくために宇東魂の発現と結集を図っていく。	重点目標	120年の歴史 ^{とき} 越え 未来を拓け 吾等が宇東 ^{スピリット} 魂
------	---	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
自己実現	わかる授業・考える力が身に付く授業の実践	生徒の授業満足度100%	B	授業満足度のアンケート結果は4.7であった。(5点満点中)	生徒の自己実現に沿った履修選択ができるよう検討する。
		教員の研修・研究授業参加3回以上	A	全日制の研究授業等にも参加するなど、校内研修会や研究授業等に積極的に参加した。	公開授業や校内研修会を計画的に実施する。引き続き、全日制の研究授業等にも積極的に参加し、資質・能力の向上に努める。
	学習習慣の確立	小テスト月1回以上	B	各教科で取り組んだ。また、社会人基礎講座も実施した。	評価の在り方を一層考慮した小テストを行うとともに、粘り強く、学習習慣の確立を目指す。
	希望進路の実現	進路指導講話3回以上	A	外部講師による講話を2回、進路課長による講話を2回行った。	引き続き、外部講師を積極的に活用し、生徒の実態に応じた内容の講話を行う。
就職内定率100%、進学決定率100%		A	就職内定率100%、進学決定率100%であった。	生徒・担任と連携を密にし、面談を増やして、進路先を早い時期から考えさせる。	
心身健康で	基本的生活習慣の定着	あいさつの励行と端正な身だしなみ	B	自発的に挨拶する生徒も育ってきた。その場に応じた身だしなみも概ねできてきた。	挨拶を強要するのではなく、コミュニケーションの基本である挨拶の大切さを考えさせることにより、実行を促す。
		出席率90%以上	C	1月末までの出席率は85.3%であった。	長期欠席生徒への指導を継続して行う。
	自分を大切にし、他人のことを考えて行動できる生徒の育成	いじめ、人権侵害ゼロ	C	重大ないじめは発生していないが、何気ない発言や行動により、他人に嫌な思いをさせる生徒がいた。	他人の立場に立って、思いやりのある言動がとれるよう、具体例を挙げて指導する。

豊かな心		毎日の登校指導	A	年間を通じた登校指導ができ、生徒は安全に留意して登校できた。	当番生徒による登校指導を継続し、より一層の交通安全意識の高揚を図る。
	一人一人の尊重及び悩み・トラブルの解消	面接 5 回以上	A	担任による面談だけでなく、全校面談により多くの教員が生徒に関わることができた。	長期休業明けの面接については時期や方法などに関して検討していく。
	コミュニケーション能力・表現力の向上	生徒生活体験発表の指導の充実	A	校内生徒生活体験発表大会に向け全生徒が作文を大書き、発表した。南予大会に 3 名、出場し、最優秀賞を受賞した生徒 1 名が県大会で優秀賞を受賞した。	様々な行事において、感想を書かせることなどにより、表現力や作文力の向上に努めたい。
		言語活動の充実	B	総合的な学習の時間を軸として、縦断的・横断的に言語活動の充実を図ってきた。	各教科において、生徒の発言を促す発問の工夫をし、思考力・判断力・表現力を育成していくよう努める。
魅力ある特別活動	生徒主体の学校行事	学校行事満足度 100%	B	個々が役割を果たし、充実した行事が実施できている。運動会・文化祭実施後のアンケート調査の回答結果は、運動会満足度が 100%、文化祭満足度は 1 名を除き満足であった。	主体的・積極的に行事に参加し、考えて行動できる姿勢・態度を育てる。
	部活動の充実	全国定通総体参加 5 名以上	C	全国定通総体参加は、3 名であった（内訳：バドミントン男子 2 名、卓球女子 1 名）。	技能の上達や体力の向上、生徒相互の信頼関係の構築など、個々に目的を持たせて指導をする。
活動日週 2 回以上		B	バドミントン部及び卓球部は毎日活動した。文芸部は不定期ではあるが、文化祭や地域行事に向けて計画的に活動した。	全ての生徒が、自分の所属する部活動に週 2 回以上参加できるよう、顧問あるいは生徒相互の声掛けを積極的にする。	

※評価は 5 段階（A:十分成果があった B:かなり成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった）